

県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙

緑したたるさわやかな五月、「目には青葉、山ほととぎすはつがつお素堂」の句がびつたりの大変気持のよい季節を迎えましたが、県民のみなさん、いかがお過ごしでしょうか。

私たちが四月から新年度を迎え、更に



新たな気持ちで県政に取り組んでいます。向う一年間、予算に基づいていろいろの事業を進めていくわけですが、その昭和五十九年度予算は、総額四千九百七十一億円で、昨年度にくらべ二・三パーセント増と低い伸びになっています。

歳入（収入）の面では、景気の回復等である程度県税の伸びは期待できるものの、国からの地方交付税の落ちこみ等、財源確保はかなり厳しいものと思われまふ。一方、歳出（支出）の方は、人件費や公債費（過去に発行した地方債の償還費）等の義務的経費といわれるものがかなり増加する見込みです。

このため私たちは、事務事業の見直し等いろいろ工夫して、緊縮型ではありませんが、質的には充実したものとできるよう配慮して予算を作成しました。

ところで、このような厳しい財政事情のなかではありますが、一方で、変化の激しい社会情勢に対応し、積極的な県政を推進していく必要があります。そのため私たちは、徹底した行政改革も行わなければならないと思ひます。

県民サービスの面では、許認可事務の標準処理日数の設定、総合窓口・県民相談室の充実、県民提案制度の新設等を、今年度を実施することにしています。

行政のスピード化と、わかり易い開かれた県政を目指して、更に努力していきたいと思ひていますので、県民のみなさんの一層の県政参加をお願いいたします。

県政トピックス

明日の農業を考える。農業コンクール大会開催。



二月二十四日第二十四回県農業コンクール大会が、県庁地下大会議室に、農業関係者四百人を集めて開かれた。

同大会では、「自立経営」、「農業新入王」、「組織農業」、「創意開発」の四部門の審査が行われ、四十三の農家が農業グルーブが表彰された。

長年の願いかなう。大鞘樋門竣工。



八代郡市の農地三、〇二四ヘクタールを保全する、大鞘樋門の改修工事竣工式が、三月三日八代郡鏡町で行われた。

昭和二十六年に築造された旧樋門の上流に建設されたもので、今後、防潮と排水に威力を発揮する。

総工費は、三十八億九千万円。



ふるさとの味、再発見。くまもと旅の味フェア開催。



県内の和・洋・中の料理を一堂に集めた、くまもと旅の味フェアが、二月二十五・二十六日熊本市新市街サンロードで行われた。

旅の味フェア

同フェアには、県産品を材料にした新しい郷土料理や店舗個人の自慢料理など、二百五点が出品された。

熊本テクノポリス 開発計画、国の承認を受ける。

三月二十四日、熊本テクノポリス開発計画が、全国のテクノポリスの先進グループとして国の承認（地域指定）を受けた。これは、県民一丸となった熱意と努力が認められたもの。

今後、テクノポリス財団の充実、電子応用機械技術研究所の建設など、具体的事業に積極的に取り組む。

熊本の味と技、海外へ。ハワイで観光と物産展開催。

熊本の観光と物産展が、三月三十一日から四月八日まで、米国・ハワイ州オアフ島パールリッジのショッピングセンターで開催された。



あなたかな善意、お待ちします。下通り献血ルーム開設。



県赤十字血液センターでは、三月一日熊本市下通りのマルタ号ビル二階に献血ルームを開設した。献血の受付は、毎日午前十時から午後一時までと午後二時から午後六時まで。また、献血ルームのロビーは、絵画や写真などの展示会場として無料開放している。

新しい観光拠点に。大規模年金保養基地が起工。

大規模年金保養基地「グリーンピア南阿蘇」の起工式が、四月九日阿蘇郡久木野村で行われた。

同基地は、一三九ヘクタールの敷地に、二五〇名収容のホテルを中心に、スケート場、遊園地、四季の森などを備えた総合保養施設で、六十一年度にオープンの子定である。

